

[TOP page](#)
[資料室](#)
[イベント情報](#)
[講師を探す](#)
[Worker's 広場](#)
[関連リンク](#)

## 資料室


[HOME](#) | [資料室](#) | [一般教養](#) | [7つの習慣](#) | [自立できない人々 \(1\)](#)
[労働組合](#)
[労働者福祉・共済](#)
[一般教養](#)
[社会保障](#)
[労使トラブル法律相談Q&A](#)
[労働関係法](#)
[経営全般](#)
[人間関係とコミュニケーション](#)
[ライフプラン](#)
[男女共同参画](#)
[公務員関係法](#)
[日朝の歴史](#)
[7つの習慣](#)
[中東の歴史](#)
[ボランティア活動](#)
[環境活動](#)
[社会貢献活動](#)
[自己啓発](#)
[生涯学習](#)
[外交・防衛問題](#)
[資本論](#)

### 自立できない人々 (1)

日本だけでなく世界中が狂い始めた。  
歴史の歯車が悪い方向へ逆回転しはじめた感じすらする。  
どうしてなのか、悶々としながら考える。

様々な問題は人間社会で起きるのだから、結局、それぞれの人間の生き方に結びつく。  
ポジティブな生き方はポジティブなエネルギーを生み出し、ネガティブな生き方はネガティブなエネルギーを生み出す。  
ネガティブな人は被害者意識に固まり、思うようにいかないわが身の状況を、他の人や環境のせいにするばかりでなく、受動的な生き方しかできなくなる

ヴィクトール・フランクルという心理学者がいる。  
フランクルは心理学者でもあるが、精神科医でもありユダヤ人でもある。  
彼は第二次世界大戦時にナチスドイツの強制収容所に送られ、筆舌につくしがたい経験をした。  
彼の両親、兄、妻は収容所で病死したり、ガス室に送られた。  
彼の著書「それでも人生にイエスと言う」のなかに、こんな一説がある。  
「すべては、その人がどういう人間であるかにかかっていることを、私たちは学んだ。  
最後の最後まで大切だったのは、その人がどんな人間であるか“だけ”だったのである。」  
「それでも人生にイエスと言う」は、ガス室に送られた家族や仲間たちの生き様を見続けてきた彼の心の有り様を表したタイトルだ。  
彼はこうも言う。  
「すべてのものは取りあげることができて、そして事実ほかのすべてのものは取りあげても、内面的な能力、人間としてのほんとうの自由は、囚人から取りあげることではできない。  
その自由は残っていた、最後の息を引き取るまで残っていた。」  
ものすごくポジティブで主体的な生き方である。

スティーブン・R・コヴィーというリーダーシップ論の権威がいる。  
彼は「人格主義」のパラダイムを持つことの重要性を、著書「7つの習慣」で強調している。  
成功をテーマにした書籍を200年さかのぼって調べ上げ、「成功に関する文献」に共通した「人格主義」に着目したのである。  
実りある人生には、それを支える基本的な原則があり、それらの原則を体得し、自分自身の人格に取り入れ内面化させて初めて、真の成功、永続的な幸福を得られるということだ。  
その法則を「7つの習慣」としてまとめたのである。

(つづく)

資料に関する解説やサイト内ブックマーク、簡単なクイズもできる無料会員登録のお申し込みはこちらになります。

### Worker's Library 会員登録

お申し込みはこちらです。

>>> [一覧へ戻る](#)

[教育カリキュラム](#)

[日本国憲法](#)

[傾聴](#)

[語り部スキル](#)

[▶ キーワード検索はこちら](#)

[▶ サイトマップ](#) [▶ このサイトについて](#) [▶ 個人情報保護の取組みについて](#)

[▶ ページTOPへ](#)

[TOP page](#)

[資料室](#)

[イベント情報](#)

[講師を探す](#)

[Worker's広場](#)

[関連リンク](#)

**Worker's Library** 静岡で働く人のための資料閲覧サイト  
JAPANESE TRADE UNION COFEDERATION DB SITE **【ワーカーズ・ライブラリー】**

Copyright© WORKER'S LIBRARY All rights reserved.